取扱説明書
（保証書付）

本商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本商品は、ソーイング入門用としてはじめてお使いになる方々を対象に、使い易さと簡便性をコンセプトに開発いたしました。
一般的な家庭用ミシンにくらべ、基本的な性能は限定されますので、ご了承願います。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、かならずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。　FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味		
	⚠	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。（左図の場合は一般的な注意）
	🛇	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。（左図の場合は分解禁止）
	❗	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。（左図の場合は一般的な強制）

⚠ 警告　感電・火災の原因になります。

禁止　ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 5℃～ 35℃です。

禁止　スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。

禁止　AC アダプタ、フットスイッチのコードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。AC アダプタ、フットスイッチのコードが破損した場合は、使用しないでください。

必ず実行　一般家庭用、交流電源 100 Vでご使用ください。

必ず実行　AC アダプタは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。

必ず電源プラグを抜く　以下のようなときは、AC アダプタを抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電・火災・けがの原因になります。

分解禁止　お客様自身での分解はしないでください。

接触禁止　ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

禁止　ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

禁止　曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。

禁止　ミシンの通風口はふさがないでください。

感電・火災・けがの原因になります。

禁止　フットスイッチの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。

注意　お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。

必ず実行　ミシンを持ち運ぶときは、必ず両手でミシンを持ってください。

必ず実行　ソケット部に、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。

必ず実行　針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。

必ず実行　AC アダプタを抜くときは、コードを引っ張らずアダプタを持って抜いてください。

必ず実行　以下のことを行うときは、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
・押さえ、アタッチメントを交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき

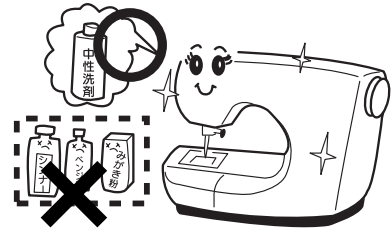
必ず電源プラグを抜く　以下のことを行うときは、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
・針を交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき
・ミシンのお手入れを行うとき

必ず電源プラグを抜く　ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、AC アダプタを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水にぬれたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い、音がするとき
・AC アダプタ、プラグ類が破損、劣化したとき

目次

おとり扱いについてのお願い

◇ご使用の前に

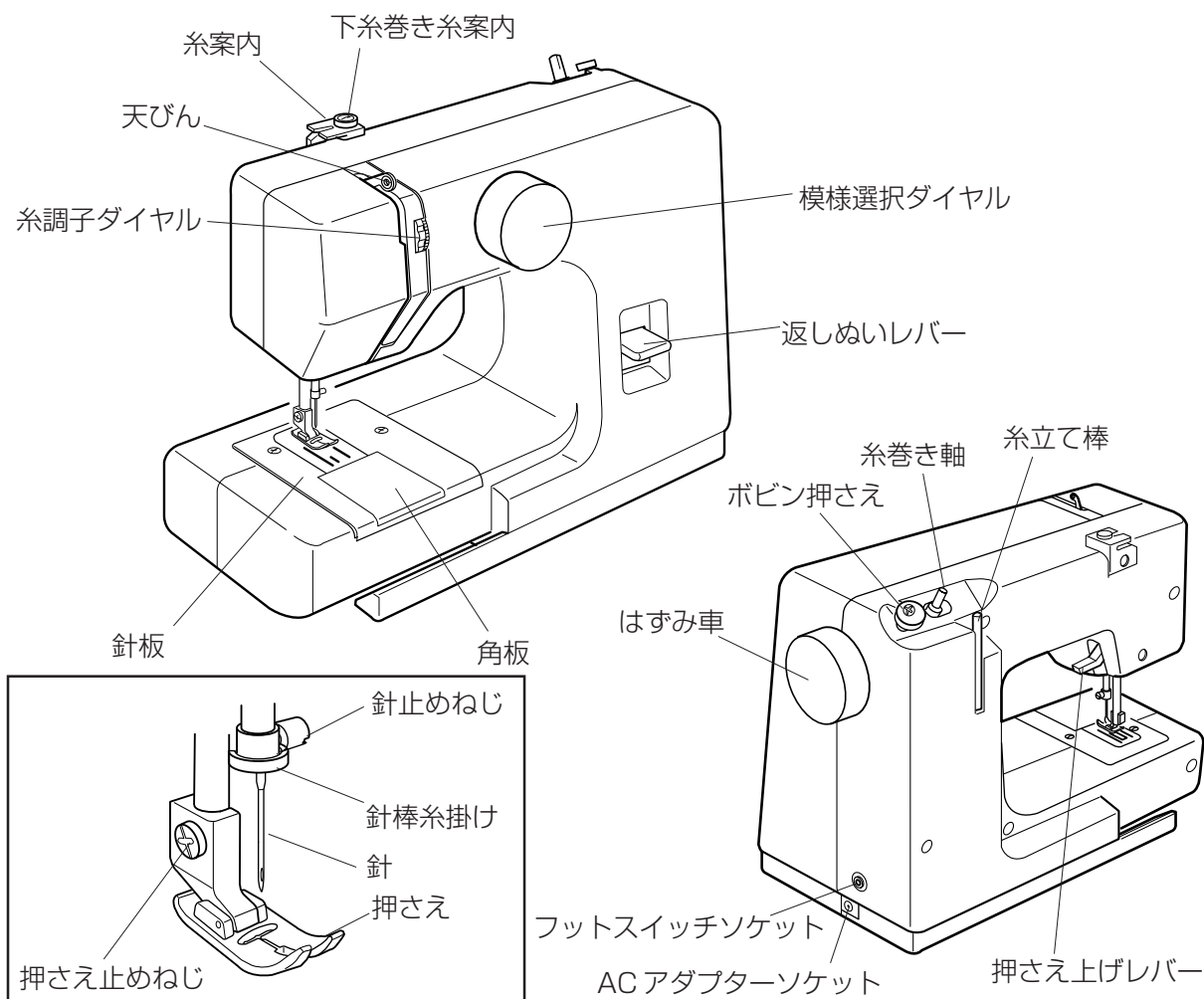
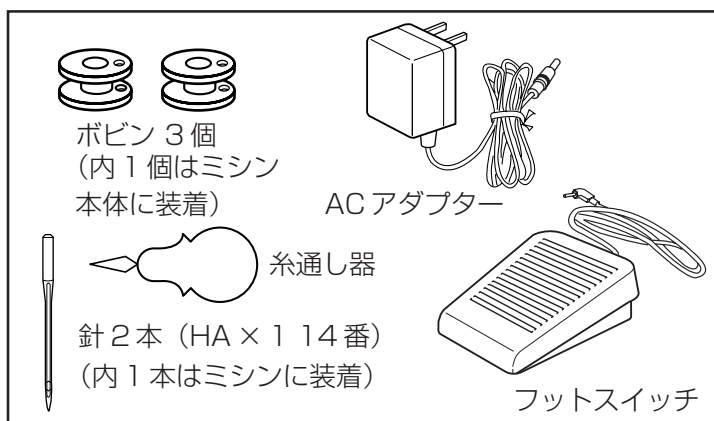
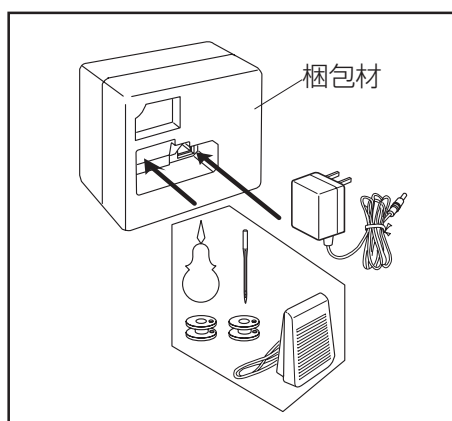
① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

① 長時間日光に当てないでください。
② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、必ず両手で持ってください。

◇修理・調整についてのご案内

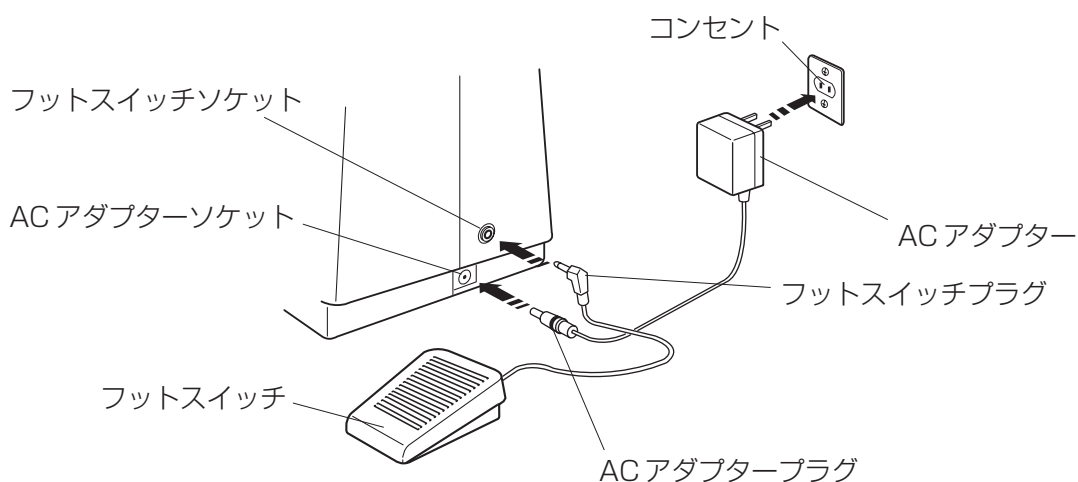
万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」（17ページ）により点検・調整を行ってください。

●各部のなまえ

糸案内
下糸巻き糸案内
天びん
糸調子ダイヤル
模様選択ダイヤル
返しぬいレバー
針板
角板
糸立て棒
糸巻き軸
ボビン押さえ
はずみ車
針止めねじ
針棒糸掛け
針
押さえ
押さえ止めねじ
フットスイッチソケット
ACアダプターソケット
押さえ上げレバー

●標準付属品

【付属品梱包場所】

※ボビンはプラスチックボビンをご使用ください。（お買い上げ店へご相談ください。）
水平釜用ボビン / ボビン高さ 11.5mm
針：家庭用ミシン針（HA×１ 14番）

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

ミシンを使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
また、フットスイッチの上に物を置かないでください。
感電・火災・けがの原因になります。

① フットスイッチプラグをフットスイッチソケットに差し込みます。

② ACアダプタープラグをACアダプターソケットに差し込みます。

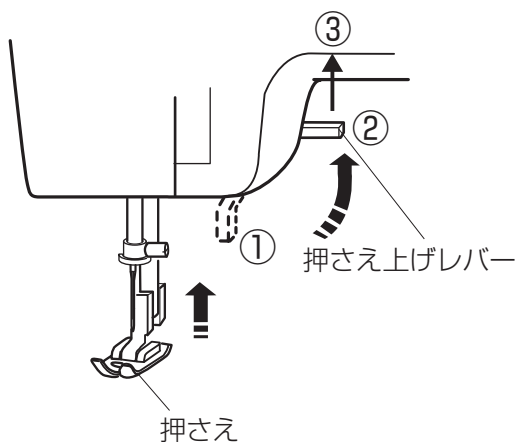
③ ACアダプターをコンセントに差し込みます。

★スイッチの入れ方、切り方

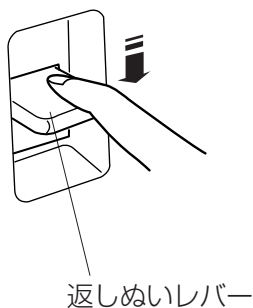
フットスイッチを踏むと、ミシンが動きます。
踏み込みをはなすと、ミシンは止まります。

⚠ 注意

フットスイッチを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
動作不良を起こし**けがや故障の原因になります。**

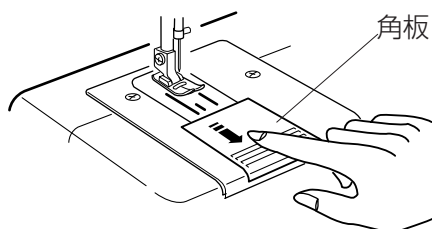
●押さえの上げ方、下げ方

押さえ上げレバーを上下することで、押さえの上げ下げができます。
ぬうときはレバーを下げて①の位置にします。
布を取り出すときは、レバーを上げて②の位置にします。
布が取り出しにくい時には、③の位置まで上げることができます。

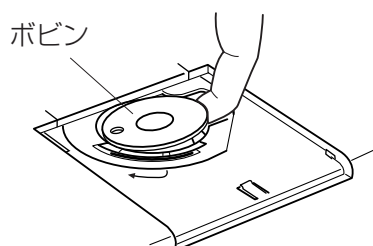
※ ③の位置ではレバーは固定されません。

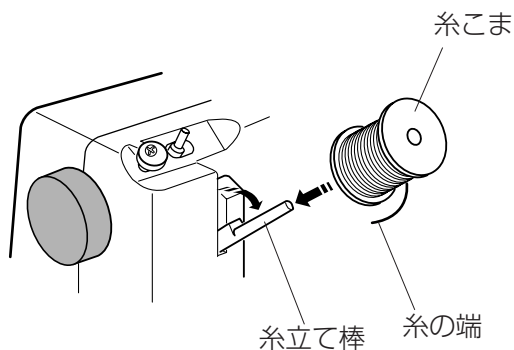
●返しぬいレバー

フットスイッチを踏みながら、「返しぬいレバー」を押すと、押している間は、「返しぬい」をします。
指をはなすと、「前進ぬい」になります。

●下糸の準備

★ボビンの取り出し方

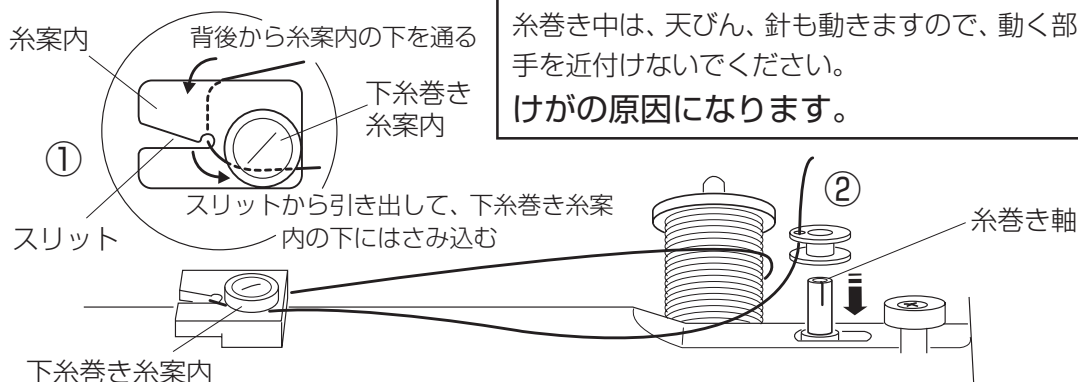
①

① 角板を手前にずらして外します。

②

② ボビンを取り出します。

★糸こまの取り付け方

糸立て棒は、ミシン本体のうしろ側に収納されています。使用するときには、ミシンのうしろ側に倒してください。

糸の端を左図の方向に出し、糸こまを糸立て棒にセットします。

★下糸の巻き方

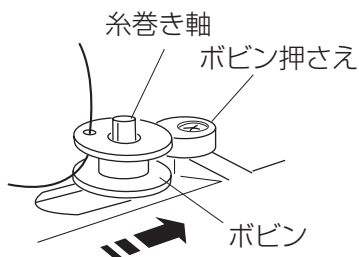
> ### ⚠ 注意
> 糸巻き中は、天びん、針も動きますので、動く部分には手を近付けないでください。
> **けがの原因になります。**

※ナイロン透明糸およびメタリック糸は、使用しないでください。

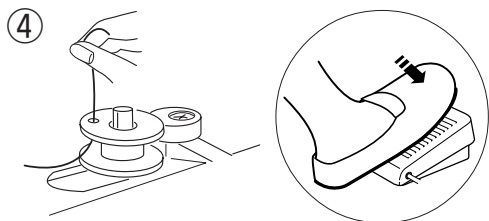
① 糸立て棒に立てた糸こまから糸を上図の様に引き出し、「糸案内」の背後から、糸案内の下を通り、スリットから糸を引き出した後、「下糸巻き糸案内」を左回りに糸をはさみこんでから、右に引いていきます。

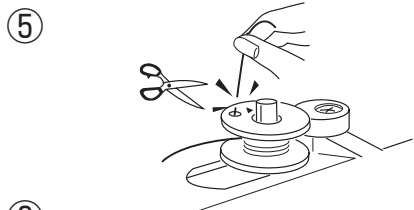
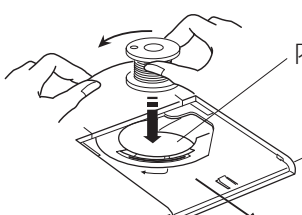
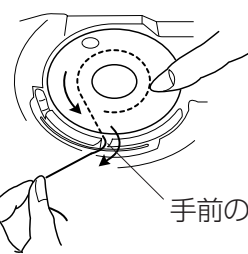
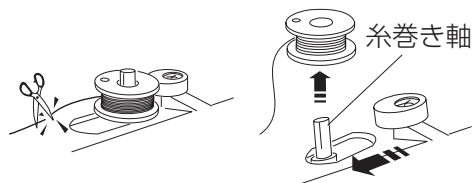
② ボビンの穴に内側から糸を通し、上図の様に引き出した後、ボビンを糸巻き軸にセットします。

③

③ 糸巻き軸を右に押して、ボビン押さえの方に押しつけます。

④

④ 糸の端をつまんだまま、フットスイッチを踏んで巻き始めます。

⑤

⑤ 糸がボビンに2～3重ぐらい巻きついたら、ミシンを止めて穴のきわで糸を切ります。

⑥

⑥ 再びミシンを動かし巻き終わったら、ミシンを止めます。ボビンの糸を切り、糸巻き軸を左に戻してから、ボビンを取り外します。

※ 糸巻き軸を手で動かすときは、必ずミシンを止めてから動かしてください。

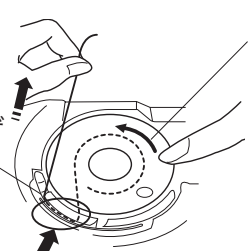
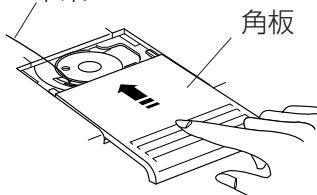
★ボビンのセット

⚠ 注意

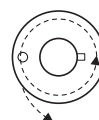
下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。

①

① 角板を手前にスライドして外し、糸を出して、内がまにボビンが左巻きになるように入れます。

②

② 手前のみぞ（A）にかけます。

③

※糸をかけるときはボビンが回転しないように指で押さえてください。

③ そのまま左側のみぞ（B）まで引っ張ります。

※ 糸は金属部とバネの間を通ります。

④

④ 糸が左側のみぞ（B）へきちんと入ったら、糸をミシンの後ろ側へ引き、ボビンが反時計回りにまわる事を確認してください。

⑤

⑤ 下糸を、10cm くらいミシンの後ろ側へ引き出します。
角板をスライドさせ取り付けます。

●上糸の準備　★上糸のかけ方

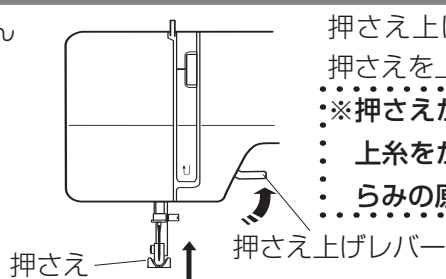
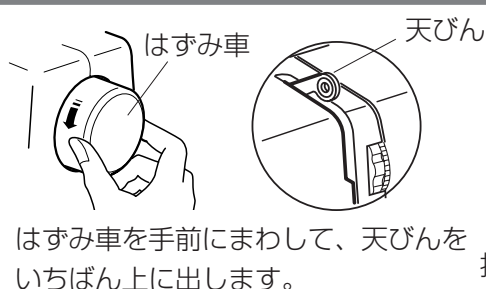
⚠ 注意

上糸かけのときには、必ずアダプタープラグをアダプターソケットから抜いてください。
けがの原因になります。

【手順 1】※重要※

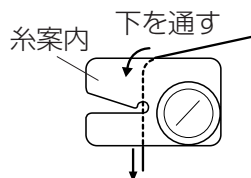
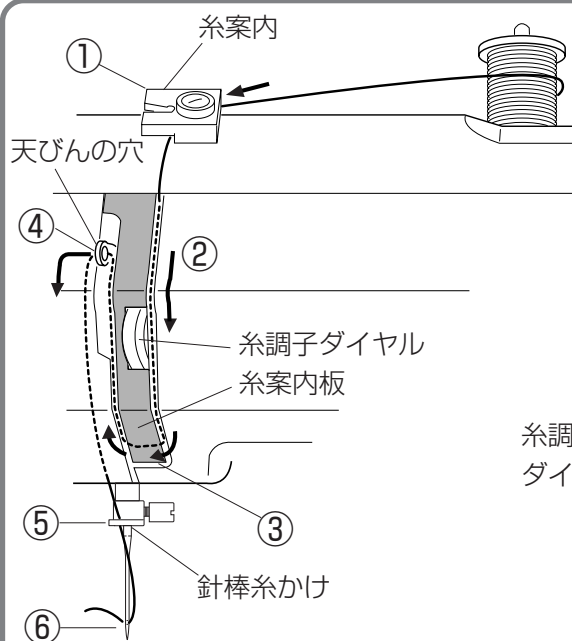
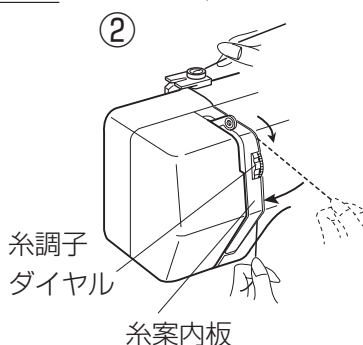
はずみ車を手前にまわして、天びんをいちばん上に出します。

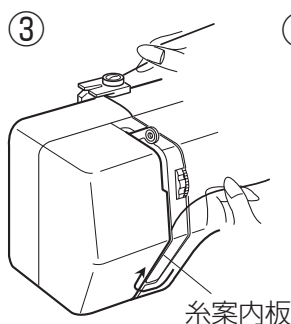
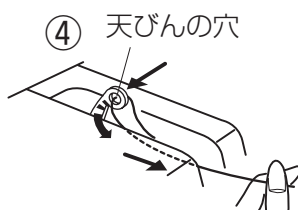
押さえ　押さえ上げレバー

押さえ上げレバーを上げ、押さえを上げます。

※押さえがあがった状態で上糸をかけないと、糸がらみの原因になります。

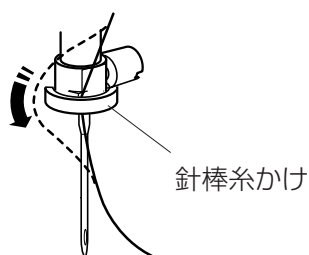
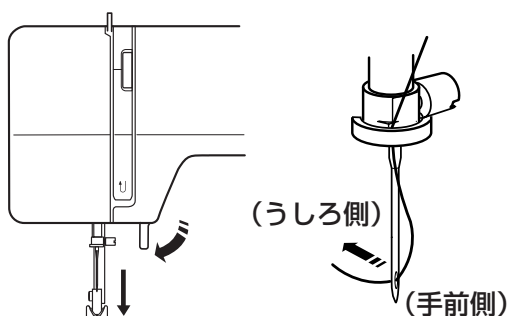
【手順 2】

糸案内　天びんの穴　糸調子ダイヤル　糸案内板　針棒糸かけ　①②③④⑤⑥

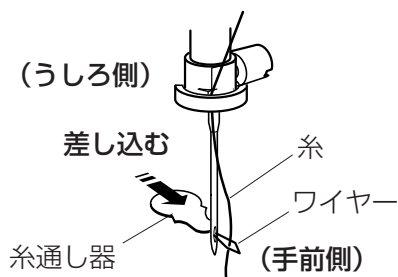
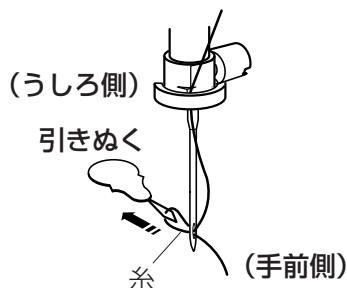
糸案内　下を通す

① ミシンの背面側から、糸案内の下を通り、手前に糸をかけます。

② 糸案内板の右側に糸を引きおろし、両手で糸の端を持って、糸調子ダイヤルの右横に押し込むように入れます。

糸調子ダイヤル　糸案内板

③ 糸を糸案内板にそって、上へ折り返します。

糸案内板

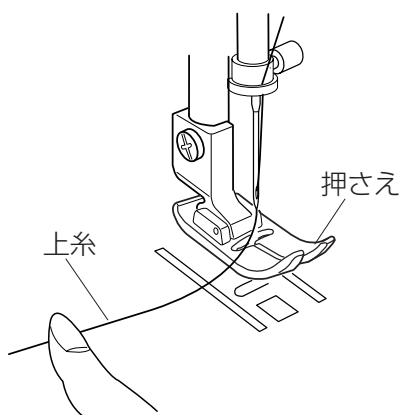
④ 天びんの穴

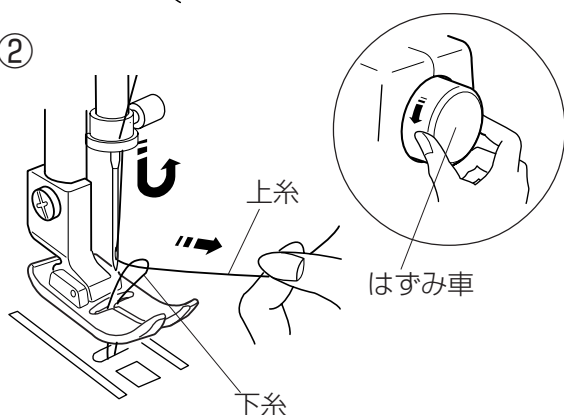
④ 天びんの穴に右から左へ糸を通し、そのまま、糸案内板の左側にそって下へおろします。

⑤ 糸を針棒糸かけに左から糸をかけます。

⑥ 押さえ上げレバーをさげ、押さえをおろしてから、**針穴の手前側からうしろ側に糸を通します。**

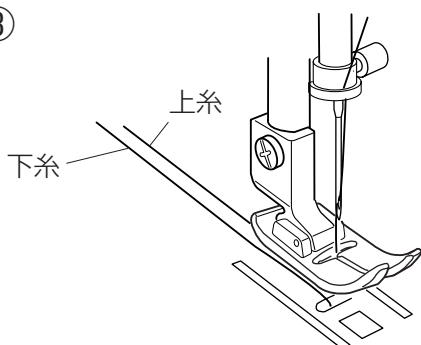
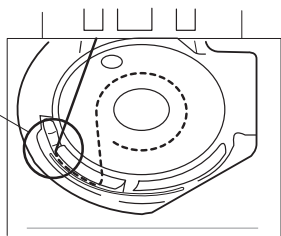
※ 模様選択E（E）を選んでいただくと、針が左よりになりますので、糸が入れやすくなります。

【糸通し器を使用するとき】

糸通し器を針のうしろ側から入れます。
糸を針の手前側に出ている、糸通し器のワイヤー部分に入れたら、糸通し器をうしろ側に引き抜き、糸を針のうしろ側に出します。

※ **糸が、針の手前側からうしろ側へ通っていることを確認してください。**

★下糸の引き上げ方

①

① 「押さえ」を上げ、糸の端を指で押さえておきます。

②

② 上糸の先を押さえたまま、はずみ車を手前に1回転させ、上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。
出てきた下糸の輪をつまみ、下糸を引き出します。

③

③ 上糸と下糸を「押さえ」の下に通して、後ろへそろえて10cmくらい出します。

下糸を引きあげた後、ボビンを上から見ると、左側のみぞ(B)から出た糸が左図の様に、ななめに1本かかった状態となります。

※ かかっていないと糸調子がとれず、きれいにぬえません。
もう一度下糸をセットし直してください。
7ページ参照。

●針の取りかえ方

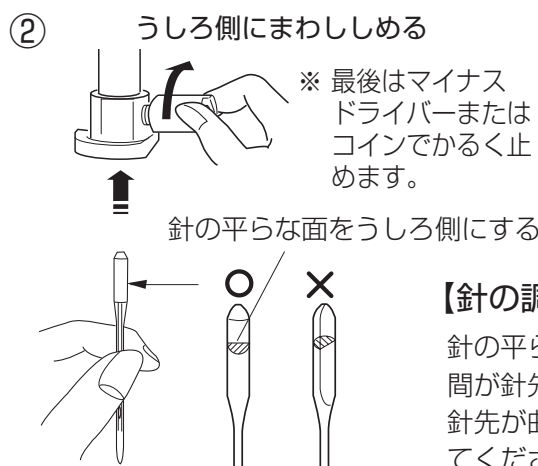
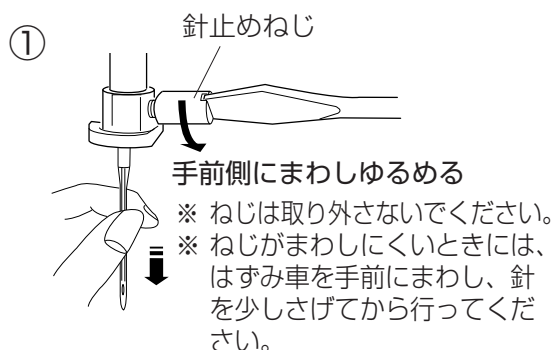
①

手前側にまわしゆるめる

※ ねじは取り外さないでください。
※ ねじがまわしにくいときには、はずみ車を手前にまわし、針を少しさげてから行ってください。

②

うしろ側にまわししめる

※ 最後はマイナスドライバーまたはコインでかるく止めます。

針の平らな面をうしろ側にする

⚠ 注意

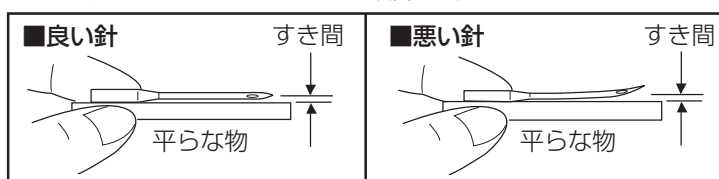
針の取りかえは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
けがの原因になります。

① 針が落ちない様に持ったまま、針止めねじをマイナスドライバーもしくは、10円玉などのコインで手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

※ マイナスドライバーは標準付属品には含まれていません。

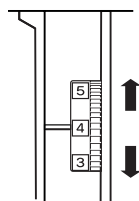
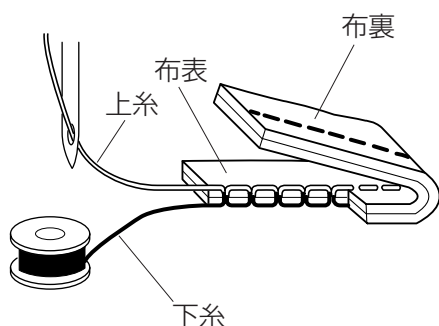
② 針の平らな面をうしろ側に向けて、針が止まる位置まで差し込み、手で針止めねじをうしろ側にまわし、針をセットしたら、最後はマイナスドライバーまたはコインでかるく止めてください。

【針の調べ方】

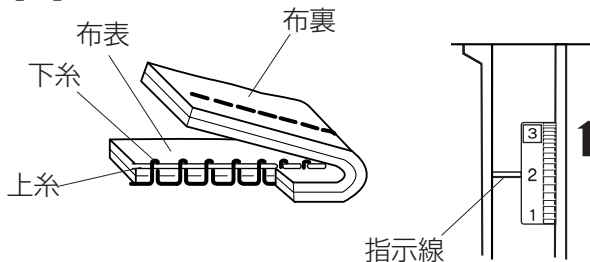
針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。
ぬい目がおかしくなったり、故障の原因になったりします。

●布・糸・針の選び方

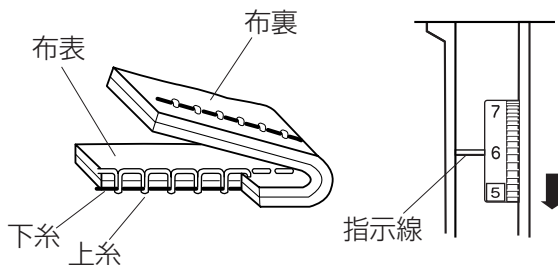
布地の種類	糸の番号	針の番号
■普通地：ギンガム、シーチング、ブロードなど	ポリエステル60～90 綿50 絹50	11番～14番

※ 標準付属には、HA×1 14番の針のみです。
※ 布地で特に厚いものや、固い布地は、ぬうことができません。
布を送らない場合や、針が貫通しない場合は、無理にぬおうとしないでください。
※ 綿や絹糸は、経年劣化により切れやすくなります。（目安として製造より2年）
新しいものをお使いください。
※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、使用しないでください。
（おすすめ） スパン糸（素材：ポリエステル）の糸であれば、ほとんどの布地に対応でき、また、長持ちします。

●糸調子の合わせ方

糸調子がうまくとれない場合は、糸調子ダイヤルをまわして調節してください。

【1】正しい糸調子

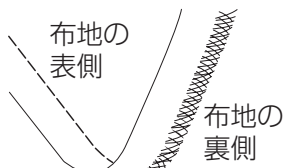
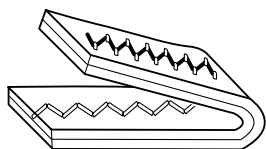
上糸と下糸が布地のほぼ中央で交わります。

【2】上糸が強すぎるとき

下糸が布の表に出ます。

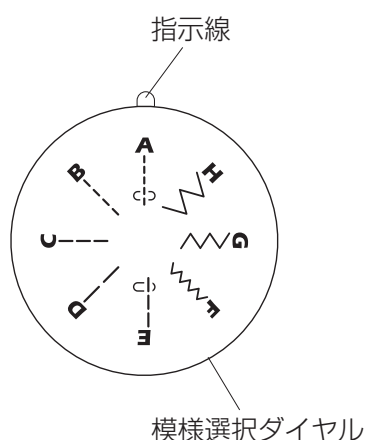
※糸調子ダイヤルをまわし、小さい数値を指示線に合わせます。

【3】上糸が弱すぎる

上糸が布の裏に引き出されます。

※糸調子ダイヤルをまわし、大きい数値を指示線に合わせます。

《布地の裏側がタオル地のようになるのは》

左図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようになるのは、上糸の糸かけの際に、押さえ上げレバーを下げた状態で糸かけをしてしまった事が原因です。必ず押さえ上げレバーは上げた状態で糸かけをしてください。8、9ページをご確認ください。糸調子が弱い時にも起こります。上図を参考に調節してください。

■ジグザグぬいの糸調子

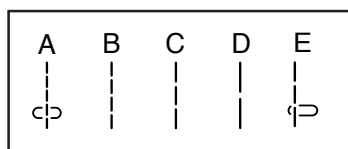
ジグザグぬいの場合は、直線ぬいのときより上糸調子をやや弱めにして、上糸が布の裏側に少し出るようにすると、きれいにぬえます。

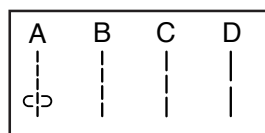
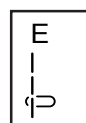
●模様の選び方

模様選択ダイヤルをまわし、指示線に模様（記号）を合わせ選びます。

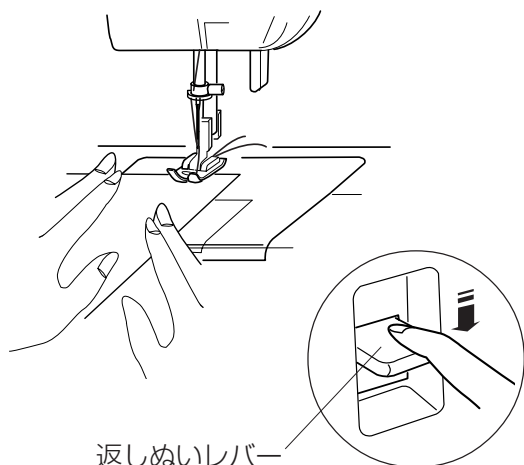
※模様を選ぶときは、針を布から上げてください。
針をさげて模様選択ダイヤルをまわすと布をいためたり、針曲がり、針折れの原因になります。

【直線ぬい】・・・A～E

※ぬい目のあらさはA、B、C(E)、Dの順にあらくなります。

【ジグザグぬい】・・・F～H

※ぬい目の幅F（小）、G（中）、H（大）の３種類です。ほつれ止めや飾りぬいとして利用します。

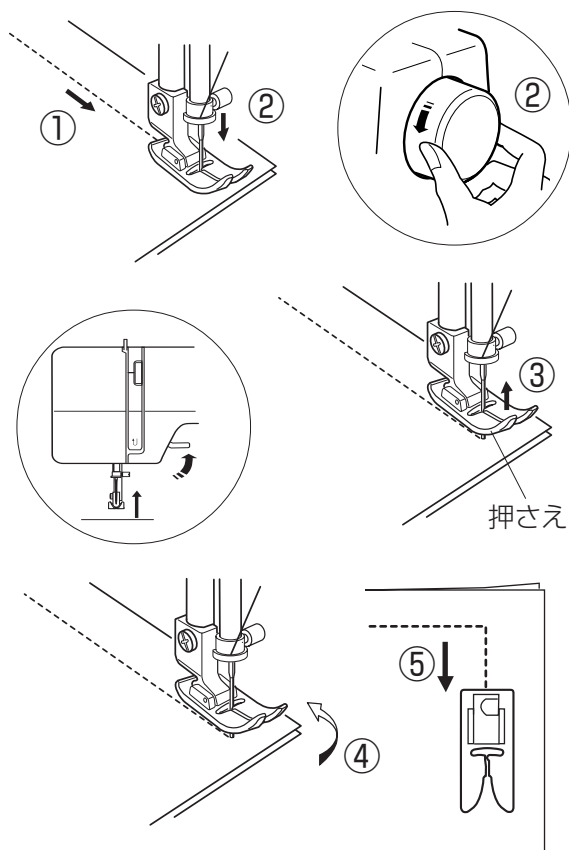
《針位置》・・・A～Dは針位置中（　）

《針位置》・・・Eは針位置左（　）

※やわらかい布や、薄い布をぬうとき布の食い込みを緩和します。

●直線ぬい

※ぬい目あらさの異なる５種類の中から選んでください。模様「E」（針位置左）のぬい目あらさは、模様「C」（針位置中）と同じです。

★ぬい始め

上糸と下糸を押さえの下を通し、ミシンのうしろ側に引き出し、押さえをさげて布をはさんだ後、ぬい始めます。

※ぬい始めに返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをすると、ほつれ止めとなります。

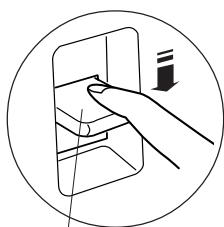
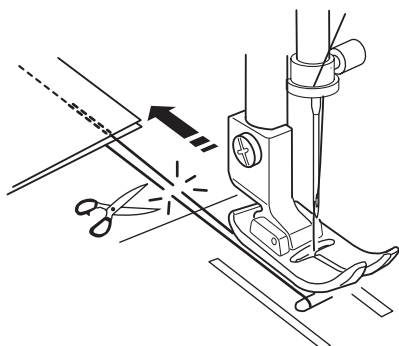
★ぬい方向のかえ方

① 布地の角まできたら、ストップします。

② はずみ車を手前にまわして、針を布に刺します。

③ 押さえ上げレバーを上げて、「押さえ」をあげます。

④ 針を軸にして布地をまわし、ぬい方向にセットします。

⑤ 押さえ上げレバーをさげ、「押さえ」をさげて、ぬい始めます。

★ぬい終わり

ぬい始めと同じように、ほつれ止めのために、返しぬいレバーを押して返しぬいをします。

押さえを上げて、布をミシンのうしろ側に静かに引き出し、はさみで糸を切ります。

●ジグザグぬい

ほつれ止め、飾りぬいに利用します。

ぬい目の幅（小、中、大）３種類の中から選んでください。

●ミシンのお手入れ

⚠ 注意

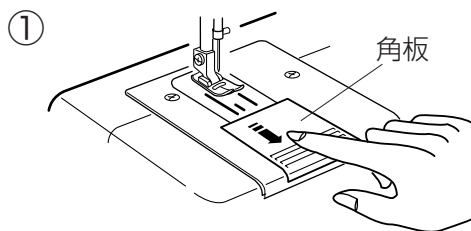
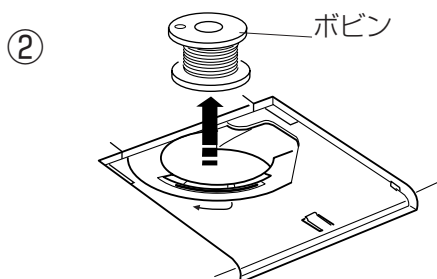
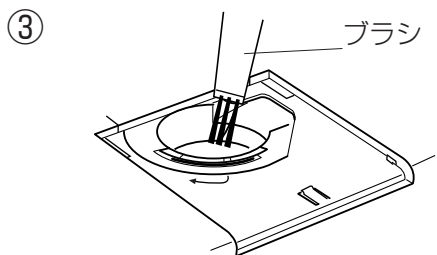
お手入れのときは、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
また、説明されている場所以外は分解しないでください。
けがの原因になります。

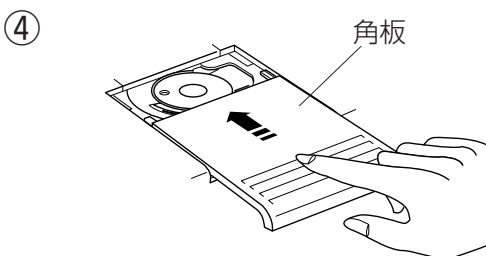
①

① 角板を外します。

②

② ボビンを取り出します。

③

③ ブラシや、やわらかい布などで糸くずを掃除します。
※ ブラシは、標準付属には含まれていません。

④

④ 角板を取り付けます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
上糸が切れる。	1．糸を針の後ろから通している。前から通す。 2．上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 3．上糸調子が強すぎる。 4．針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 5．針の付け方がまちがっている。 6．ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 7．針に対して糸が太すぎる。	9ページ参照 8、9ページ参照 12ページ参照 11ページ参照 11ページ参照 14ページ参照 11ページ参照
下糸が切れる。	1．下糸の通し方が、まちがっている。 2．サイズの違うボビンや、金属のボビンを使用している。 3．ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	7ページ参照 ボビンを交換する。2ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	1．針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2．針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3．ぬい終わったとき、布を手前に引いている。	11ページ参照 11ページ参照 布をミシンのうしろ側に出す。
ぬい目がとぶ。	1．針の付け方がまちがっている。 2．布に対して、針と糸が合っていない。 3．上糸のかけ方がまちがっている。 4．針が曲がっている。針先がつぶれている。	11ページ参照 11ページ参照 8、9ページ参照 針を交換する。11ページ参照
ぬい目がしわになる。	1．上糸下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 2．上糸調子が合っていない。 3．布に対してぬい目があらすぎる。	7、8、9ページ参照 12ページ参照 細かい模様を選ぶ。
布送りがうまくいかない。	1．厚すぎる布を使っている。	薄い生地を試しぬいをして、送りを確かめる。
ミシンが動かない。	1．電源のつなぎ方がまちがっている。 2．上糸、下糸のかけ方がまちがっている。 3．ボビンに糸がからまっている。	3ページ参照 7、8、9ページ参照 ボビンの糸を確認する。
音が高い。	1．針が曲がっている。針先がつぶれている。 2．かまの部分に、糸くずが巻きこまれている。	針を交換する。11ページ参照 16ページ参照

製　品　仕　様

●使 用 電 圧：100V 50/60Hz
●消 費 電 力：6W
●外 形 寸 法：幅 28.9cm× 奥行 12.7cm× 高さ 22.8cm
●質　　　量：2.2kg
●使　用　針：家庭用 HAx1
●最高ぬい速度：毎分 350 針
※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証・アフターサービスについて

■保証について

- 保証期間内に、正常なご使用状態で、万一故障した場合には、保証書をそえてお求めの販売店までお申しつけください。
- 保証内容は、保証規定に記載した通りです。

■保証規定

（1）保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または下記お問い合わせ先にご依頼いただければ、無償対応を致します。
（2）保証期間内でも次の場合には、有償対応となります。
〈イ〉誤使用及び不当な修理・改造による故障及び破損
〈ロ〉お買い上げ後の使用における外観上の傷、汚れ及び落下等による故障または損傷
〈ハ〉天災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、煙害
〈ニ〉本書の提示がない場合
〈ホ〉本書にお買い上げ日、お客様名、販売店印の記入がない場合、もしくは字句を書き換えられた場合
（3）本書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
（4）本書は当社保証規定によって無償対応をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
（5）保証期間経過後の修理については、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

■アフターサービス／保証／製品についてのお問い合わせ先

西日本ミシン販売株式会社　「お客様相談室」（電話）0948-25-0400
蛇の目ミシン工業株式会社　「お客様相談室」（電話）042-661-2600
（受付時間）10 時〜 12 時・13 時〜 17 時（土・日・祝日・年末年始を除く）

保　証　書

商　品　名		
保　証　期　間	お買い上げ日より **6 ヶ月**	
お買い上げ日	年　月　日	
お客様	ご住所　〒 TEL	
	ご芳名 様	
お買い上げ店	店名・住所	

本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

発売元　西日本ミシン販売株式会社　福岡県飯塚市柏の森 601-5　（電話）0948-25-0400
製造元　蛇の目ミシン工業株式会社　東京都八王子市狭間町 1463　（電話）042-661-2600